

施策マネジメントシート

基本施策名 210 道路の整備と適正管理	施策 統括課	道路下水道課	氏名	関 慎一
政策名 7 都市基盤	主な 関係課	都市計画課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

- ・市民
- ・事業者
- ・市内全域

施策の目的

だれもがより安全で快適に移動できる「人にやさしい道づくり」を進めます。

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

No.	名称	単位
ア	人口	人
イ	事業者数	件
ウ	市域面積	km ²
エ		

成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない

No.	名称(展開方向ごとに記載)	単位
1	ア 歩道の改良率	%
	イ 道路施設に起因する事故件数	件
2	ア 都市計画道路の整備率	%
	イ	
3	ア	
	イ	
4	ア	
	イ	

2 第1次基本計画期間(平成28～35年度)内における取組内容

No.	施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1	既存の道路空間の安全性・快適性の確保	歩行者、自転車、自動車など道路を利用するすべての人々が、安全で快適に移動できる道路空間を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の暮らしの安全性・快適性を確保するため緊急度や重要度に応じ、老朽化した舗装・道路施設の補修やバリアフリー対応の歩道整備等を計画的に推進します。 ・さくら通りを2車線に減線し歩行者と自転車の通行を区分することで、人にやさしい道への改修を推進します。 ・既存の道路空間の適正管理にも結びつくよう、道路台帳の整備を推進します。
2	計画的な道路網の整備	地域の特性・課題に対応した秩序ある道路網の形成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・選択と集中の下、従来にも増して、優先性が高い路線を絞り込むことが必要であり、相対的に高い費用対効果の発現が期待できる路線を抽出し、その計画的な整備を推進します。 ・都及び関係区市町で連携・協力の下、都が策定した「東京都における都市計画道路の整備方針」の第四次事業化計画に基づき計画的な整備を推進していきます。
3			
4			

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

		単位	数値区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	目標達成度		
対象指標	ア	人	見込み値 実績値	74,546	75,054								達成・ 未達成	前年度 比較	
	イ	事業者	見込み値 実績値	2,640	2,640										
	ウ	市域	見込み値 実績値	8.15	8.15										
	エ		見込み値 実績値												
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値									未達成	向上	
				目標値	17.8	19.7	21.6	23.5	25.4	26.3	27.2	28.0			28.9
				実績値	15.9	18.3									
					基本計画における 指標の説明又は出典元										
					歩道の改良率										
	イ	件	成り行き値											達成	維持
			目標値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				実績値	0	0									
					基本計画における 指標の説明又は出典元										
					道路施設に起因する事故件数										
	展開方向2	ア	%	成り行き値										未達成	向上
				目標値	38.3	38.6	39.0	39.3	39.7	39.9	40.1	40.3	40.5		
				実績値	37.9	38.2									
					基本計画における 指標の説明又は出典元										
					都市計画道路の整備率										
	イ		成り行き値												
目標値															
			実績値												
				基本計画における 指標の説明又は出典元											
展開方向3	ア		成り行き値												
			目標値												
			実績値												
				基本計画における 指標の説明又は出典元											
イ		成り行き値													
		目標値													
			実績値												
				基本計画における 指標の説明又は出典元											
展開方向4	ア		成り行き値												
			目標値												
			実績値												
				基本計画における 指標の説明又は出典元											
事務事業数				本数	17										
施策コスト	事業内訳	財源	国庫支出金	千円	19,250										
			都道府県支出金	千円	65,662										
			地方債	千円											
			その他	千円	178,057										
			一般財源	千円	-89,480										
	事業費計(A)	千円	173,489	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	人件費	延べ業務時間	時間	31,816											
	人件費計(B)	千円	125,280												
	トータルコスト(A)+(B)	千円	298,769	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること

老朽化した舗装・道路施設の補修は毎年実施していることから、「施策の展開方向」にある「既存の道路空間の安全性・快適性の確保」に対し、一定の成果が積み重ねられていると考える。
都市計画道路の整備については、事業着手した後用地取得に相当期間を要することから、道路の整備が完了して実績として表れるのは中長期後となる。

5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

平成18年度から都市計画道路3・4・10号線の整備事業を実施している。
平成23年度に東京都が都市計画道路3・3・2号線の事業認可を取得し、事業を進めている。
平成25年度に東京都が都市計画道路3・4・5号線の事業認可を取得し、事業を進めている。
平成25年にJR中央線の高架化が完了し、平成26年9月に側道の供用を開始した。
社会資本(道路施設)の老朽化が進行していることから、道路法施行令が平成25年6月に改正され、橋やトンネル等の定期点検が義務化された。
平成25年度から、さくら通りの2車線化事業を進めている。
平成28年に「東京都における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」を策定した。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・市民から道路の舗装補修の要望が多く寄せられている。
・市民から甲州街道の歩道拡幅について要望がある。
・さくら通りの適切な維持管理のため、抜本的な改修を求める意見があるが、一方で老朽化した桜の保護を求める意見もある。
・市議会から都市計画道路3・4・10号線(北工区)の早期事業化の要望がある。

6 28年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の取組状況

28年度の取組状況	29年度の取組予定
<p>・都市計画道路3・4・10号線(局所)の道路整備が完了した。 ・さくら通りの改修事業を継続的に進めている。大学通りとの交差点付近から谷保第三公園北側付近までの区間が完成した。また、その続きの区間について工事に着手した。 ・老朽化した道路の補修工事を実施した。</p>	<p>・都市計画道路3・4・10号線(南工区)の事業の進捗を図る。 ・国立駅周辺道路整備事業の内、国立駅北口広場工事に着手し、その他の道路について測量・設計を実施する。 ・さくら通りの改修事業を継続的に進める。平成28年度に工事に着手した区間を完成する。 ・老朽化した道路の補修工事を実施する。 ・道路等長期修繕計画を策定する。 ・「東京都における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」に基づき、都市計画道路3・4・3号線の一部区間について廃止を含めた見直しを検討する。</p>

(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載

総合基本計画及び28年度行政経営方針に照らして評価する

・さくら通りの改修事業や道路補修事業にあっては、展開方向1の既存の道路空間の安全性・快適性の確保の進捗に寄与している。
・都市計画道路3・4・10号線整備事業は展開方向2の計画的な道路網の整備に成果をあげている。

7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 30年度の取組方針

・道路等長期修繕計画に基づき計画的に維持管理していく。
・国立駅北口駅前広場の工事完了に向けて整備を進める。その他の路線については、引き続き関係機関と協議を行い、順次設計を行っていく。
・さくら通りの2車線化事業については、東京都の補助金を活用しながら着実に進めていく。
・都市計画道路3・4・10号線(南工区)の整備を進める。
・都市計画道路3・4・3号線の一部区間の見直しについて、地域住民の意見を聞きながら検討を進める。

(2) 中期的な取組方針

・道路等長期修繕計画に基づき、財源を確保し効果的・計画的な維持管理を実施していく。また、道路補修には極力東京都の補助金を活用しながら進めていく。
・国立駅周辺道路整備は、平成35年度完成を目的に、関係機関と協議を行い、対象路線の整備を順次進める。
・さくら通りの2車線化事業については、平成32年度の全区間完成に向けて東京都の補助金を活用しながら工事を進めていく。
・都市計画道路3・4・10号線(南工区)の完成に向けて整備を進める。